

「プレスネット」(vol.877)

平成 29 年 10 月 5 日掲載



< 1 >

昨年、東広島芸術文化ホール「くらら」が開館した。やっと世界の演奏、演劇を間近に鑑賞できるようになった。基本構想に関わった者としてうれしかった。幸い、演目によっては入場券が



金田 晋  
(美学者)

## 世界に誇りたい 東広島市の「学園都市」

### 自然は科学や文化の実験室、フィールド

か聴きに行きたい、と広島市在住の友人がうらやましが。鼻が高い。

32年には、公園を挟んで市立美術館が移転してくる。二帯が東広島市の文化ゾーンとなる。この街で、世界の知性や想像力や感動に

ここは確かに後発である。だが、この市には特筆できる自然がある。大方の学園都市で自然は疲れている。

口径の大きさでは日本で5指に入る天体望遠鏡(東広島天文台)があつて、市民に開放されている。宇宙が近

手に入らないほど盛況である。春、ブリュッセル交響楽団のベートーヴェン交響曲第3番「英雄」を聴いた。モナリザ「飛鳥・オットの同ピアノ協奏曲」第5番「皇帝」も素晴らしかった。音響がいい、いつ

出会えるようになるのだ。東広島市には広島大学をはじめとして4つの大学があり、多くの研究機関がある。文化施設が出来て、学園都市の装置がやつとそろふことになる。

学園都市として見れば、台地は、広島一の生産量を誇る米作地帯であった。空気がきれいだし、水はきれい

いとということだ。長く賀茂のチューリップ畑を思わせる、二面に広がる壮大な花畑が開かれる。

日本酒がいい。米と水の結晶である。秋には酒まつりがあつて、酒蔵通りに全国から人が集まる。春になると、隣接の世羅台地では、オランダ

とされていたツシマキモンチラシが東広島市の数力所で発見されて話題になった。

自然は科学や文化の実験室、フィールド。共存すれば、世界に誇る学園都市である。

広島大学マスタースは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象に講座も行っていきます。【問い合わせ】kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)